

せたがや 町総連だより

第 21 号

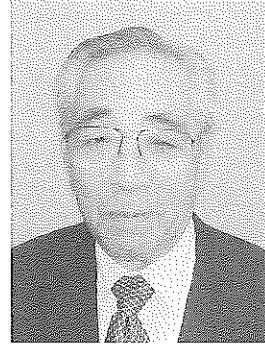
発行 世田谷区町会総連合会
世田谷区若林4-31-9
ボライト第2ビル2F
☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 倉本俊幸
編集情報誌編集委員会
編集委員長 鈴木 誠

会長就任のご挨拶

世田谷区町会総連合会

会長 倉本俊幸



この度、私は安田会長の退任に伴い世田谷区町会総連合会会長に就任することとなりました。

区民の生活の向上と福祉の増進のため、多種多様な活動を続ける町会・自治会の相互の連絡協調を担う役割を持つ連合会を考えますと、その任の重さに身の引き締まる思いです。

町会・自治会は、会員相互のご理解とご協力によって成り立つものですが、会員の加入率が伸び悩む傾向にあり、活動内容にも少なからず影響が生じてきてお

ります。

会員加入の促進を図るには、まず以って町会・自治会の趣旨と活動内容を十分ご理解いただくことから始めなければならぬと思います。

地域の身近な課題を自ら

解決できるコミュニケーションを進めていかなければなりません。

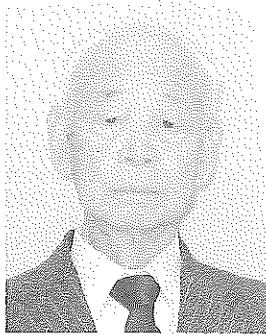
災害はいつ起きるかわかりません。いざという時には、地域の方々の助け合い・支え合いが大切なことであり、近隣とのつながりの輪を広げていく必要があります。

どうぞ、前任の安田会長同様、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

会長退任のご挨拶

世田谷区町会総連合会

最高顧問 安田憲吾



合会の会長職を引き継ぎ、今年6月の退任まで、4年間努めさせていただきました。

在任中には4人の副会長に支えられ、また皆様に一方ならぬご支援ご協力をいただき、大過なく大任を果たすことができましたこと

私は、平成13年に前白石会長から世田谷区町会総連

目次

会長就任のご挨拶	1
会長退任のご挨拶	1
地域情報	
砧地域 町会会員勧誘の苦勞と教訓	3
烏山地域 今も「オウム」と闘っている	4
世田谷地域 町会区画について	4
北沢地域 歴史と伝統・安全安心まちづくりを 目指して 創立50周年を迎える	5
玉川地域 「おやまだいコミュニティ」 (略称：おやコム)が発足!	7
町会・自治会の活動記事	
世田谷地域 世田谷地域連合交流会を終えて	9
北沢地域 地域社会について	9

玉川地域 尾山台3丁目町会活動状況	10
砧地域 「町総連」「地域町連」「地区町連」の 役割について	10
烏山地域 いつまでも住みつづけた町	11
行政情報	
国勢調査の調査員を選任中です	12
振込め詐欺などの架空・不当請求にお気をつけください	12
「エコライフ世田谷大作戦」に ご協力ありがとうございます	13
町総連ニュース	14
「みんなでつくりみんなで育てよう地域の福祉」	15
町会長交替のお知らせ	16
編集後記	16

を心より深く御礼申し上げます。誠に有難うございました。

後任には、烏山地域町会自治会連合会会長の倉本俊幸さんが6月30日の総会で承認されました。

倉本さんは人格も立派で識見も備えられ、加えて町会総連合会幹部として知識経験が豊富で、申し分なき御人です。

どうか私に寄せられましたご支援ご協力を新会長に賜りますよう、皆様よろしくお願いいたします。

この4年間には様々な課題がありました。その中で本年4月からスタートした新たな出張所では、数ヶ月経過では良し悪しの判断は決めかねますが、良好なまちづくりを形成するために行政と町会・自治会は互いに協力・連携を深めていくことが重要です。

出張所は地域のまちづくりの拠点となるべきものと考えております。

地域社会におけるコミュニ

ニティの形成が良好な社会環境の醸成には不可欠な要素であり、今の時代にこそ求められるものと思います。今しばらく見定めていく必要があります。

今後、2007年問題の一つとして団塊の世代の人たちが地域社会に多数参画されることが想定されております。

町会・自治会役員の育成や活動にも大きな力となるなど、その影響は計り知れないものと感じております。

時代が変革しても、町会・自治会の目的が地域の区民生活の向上と福祉の増進に寄与するものであるかぎり、より活発な活動が必要であります。新しい役員のもと、従来の枠組にとらわれず町会・自治会の活性化に期待しております。

終りに、新会長を迎え町会総連合会の益々の発展と皆様のご健康を祈念いたします。

新 役 員

	氏 名	所 属
最高顧問	安 田 憲 吾	
会 長	倉 本 俊 幸	烏山地域町会自治会連合会会長
副 会 長	土 橋 賀	世田谷地域町会連合会会長
	後 藤 正 三	北沢地域町会連合会会長
	飯 田 恭 次	玉川地域町会連合会会長
	額 賀 一 哲	砧地域町会・自治会連合会会長
常 任 理 事	高 橋 英 嗣	世田谷地域町会連合会副会長
	横 田 政 雄	世田谷地域町会連合会副会長
	中 野 元 之	北沢地域町会連合会副会長
	松 島 俊 昭	北沢地域町会連合会副会長
	斎 藤 重 男	玉川地域町会連合会副会長
	宮 澤 武 男	玉川地域町会連合会副会長
	木 戸 脩	砧地域町会・自治会連合会副会長
	駒 井 澄 子	砧地域町会・自治会連合会副会長
	長 島 清 一	烏山地域町会自治会連合会副会長
	杉 田 武 信	烏山地域町会自治会連合会副会長
会 計	加 納 好 昭	世田谷地域町会連合会理事
	木 村 邦 夫	玉川地域町会連合会会計
監 事	笹 岡 正	北沢地域・代田東町会会長
	西 崎 守	砧地域・祖師谷住宅自治会会長
	甲 斐 円治郎	烏山地域・千駄山町会会長

砧地域

町会会員勧誘の苦勞と教訓

喜多見北部町会 顧問 澤田 俊一

一、はじめに

今日、町会活動の重要課題の一つは会員の拡充でしょう。100軒を超える戸別訪問(足を運んだのは約その2倍)で得た苦勞と貴重な教訓がその後の6年間の町会長としての活動の原点になりました。

町会活動の今日的な広い意義については、昨年2月発行の本誌に「町会・自治会活動の基本的な考え方」という表題で述べさせて頂きました。

二、転入者への勧誘時期

・そして教訓1

さて本題の入会勧誘の戸別訪問について実直に感想

を記述いたします。私が副

会長として町会活動に参加したのが、平成9年4月で丁度、小田急線喜多見駅の高架事業が完成し運用を開始したのと期を一にします。駅周辺の街並の整備と並行して野川周辺の環境が小田急車庫完成と共に改善され、都心に近くしかも世田谷区内でもあり住宅開発が急激に進みました。

初心の情熱と本能的な勧誘義務感に駆られ、分譲地に昼夜奔走し入会を勧めました。この入会勧誘時の苦勞より得た教訓が再度ながら町会長としての活動の原動力になりました。

先ず教訓の第1は、入会

勧誘訪問の順序として分譲

2〜3年後の先行開発地区より始めましたが、今思えば不慣れで説明も不十分のせいか昼夜幾度足を運んでも入会率は50%そこそこの

気が負いながら転居間もない分譲地へ行くと対照的に、なんと90〜100%の加入率でした。説明方法を学習したせいなのか最初の頃はその原因が明確でありませんでした。説明方法を学習した理由が明らかになつて参りました。それは移住後数年経過の住宅と移住直後の住民との意識の差にあり

ご推察どおり経年在住者

は、入会しなくとも明確に任人として特別な不都合がないことを経験し加えて町会活動の受益(メリット)が実感できなかったことにあります。

一方移住直後の方は、この町の住民は入会が当然(説明にもよるが)であり、町会活動のメリットに期待感を持つからです。

第1の教訓を説明して参りましたが突詰めれば町会活動の受益(メリット)の実感と期待感にどう応えるかが町会活動の強いては入会の決め手であることが垣間見えてきました。

三、入会のメリットは

・そして教訓12

次に、勧誘経験者なら誰もが経験済みのこととおもいますが戸別訪問の際「町会は何をやっているのか、会員にはどんなメリットがあるのか」、全員ではありませんが素朴で本質的な質問に適切で明確な回答は何かを勉強させられました。

会費を納入する訳ですからどんな種類の会員募集にも共通することですが、内容はともあれ対価の意識は当然です。特に同じ町に住む者の住民活動ですから、通り一遍の説明と陳腐な活動実績では納得は得られません。

これらのことから入会して貰うのに妙薬はなく、町会活動と戸別訪問勧誘を重ねるに従ってその決め手は「活動実績を住民に実感して貰う」以外には方法がないことを改めて知らされました。

四、教訓への対応が入会への鍵

この3月、6年間の会長職を辞任いたしました。入会勧誘時の教訓を果たすべく副会長はじめ、理事・住民の協力を得ながら従来からの業務の拡充(約2倍)と町会活動に相応しい新規業務(防災訓練・交通安全運動・高齢者サロン・違反広告撤去協力員・わんわん

烏山地域

今も「オウム」と闘っている

給田西住宅自治会 会長 玉井良助

パトロール隊・日赤活動等）を採り入れ町会業務の多様化と多くの住民参加への努力による活性化に明け暮れました。

どの程度、住民に理解されたかは不明ですが「町会・自治会活動の基本的な考え方」で述べましたように「防犯・防災初め、高齢者・青少年・環境等社会問題多発の現在ですが、「公」は逆に財政難と行政改革の必要性のために適時適切な対応が困難な時代です。今目的な住民活動の重要性、即ち身近で軽易なことは住民自身による解決に委ねられています。

当然ながら町会活動そして総合的なボランティア活動の制約の中ではありませんが、公益事業ではなく共益事業として住民共々の理解と協力そして参加を得ながら更なる活動の活性化が「入会の鍵」と教えられました。

今年の3月で、死者12人、負傷者5500人以上の犠牲者を出した無差別大量殺傷行為「地下鉄サリン事件（平成7年3月20日発生）」から10年が経過した。

東京地裁は事件発生の同年10月に宗教法人オウム真理教に解散命令を出し、オウム真理教はその名をアレフに、さらにアレフに改称した。

日本中を震撼させたオウム信徒が集団で、老かいな手段方法を用いて、平成12年暮、世田谷区南烏山の5階建てマンションに転入してきた。

この事実を知った近隣住民は驚愕と恐怖におののくばかりだった。

世田谷区（烏山総合支所）は即日24時間体制で教団の施設となった建物と信徒の

挙動を監視・警戒する活動を開始した。その年が明け

た平成13年1月9日に、烏山地域住民約700人以上が烏山区民センターに集い、住民総決起大会を開催し満場一致で「烏山地域オウム真理教（現アレフ）対策住民協議会」を結成した。

この日から、オウム反対運動・活動が始まり、対策住民協議会は現在も、「歴史の残虐犯罪集団オウム真理教」を監視して

いる。また、監視した結果を日誌に書き残し、この事実の積み上げこそが教団解散の基礎データになるものと確信している。

世田谷地域

町会区画どうなる

上馬北部町会 会長 宇田川 国一

町会長を引受けて32年、種々の問題を解決したり、

多くの行事を成功させたり、

学習会・抗議デモ、月1回の「オウム対策住民協議会ニュース」の発行、募金・署名活動などを積極的に行い、「オウム真理教の解散・解体」に向け、強い意思を堅持し、地域住民と共に、全区民に理解と協力を得ながら、活動を続けていく所存であります。

皆様の深いご理解とご協力・ご支援を衷心よりお願いする次第です。

区議会議員となって行政へも働きかけたりしてきましたが、まだまだ問題は山積

しております。今回は、町会区画の問題を取り上げさせていただきます

ます。

本年4月から出張所の体制が新しく変りました。これを好機として、町会自治会を、育てる方も、活用する方も、又、新しく加入される方も、共々に、わかりやすく、動きやすい自治会区画に再編成する時だと思えますが、どうでしょうか。町会が出来て半世紀、その間、幹線道路ができ、新番地表示となって、大きく状況が変わっております。特に次のような問題を考

- 一、防災や避難所運営のこと
- 一、学区のこと
- 一、町会の境界のこと、同じ丁名に複数の町会が入りくんでいること
- 一、青少年の活動のこと等です。

これを解決するには、人間関係や土地財産の関係、老人会等の関係団体の問題もあるでしょうが、近隣の

町会がもうひとつ大きく高い立場にたつて、又、広い気持ちになって、問題がある町会同志が、2年とか、3年とか時間をかけて住民にもよく説明をして互いに気持ち良く、スムーズに、変更や合併が出来ればと思う次第です。

この「町総連だより」に、私達はこうして、新しい区画の町会を出発させることが出来ましたという記事が掲載されますことを期待いたします。

今回は、区画を主体として

て申し上げましたが、次の機会には、各行事について記したいと思います。

参考図では、

同じ2丁目に2町会

同じ3丁目に2町会

同じ4丁目に3町会

環状7号線をはさむ町会が2町会

国道246号線をはさむ町会が2町会

学区つまり避難場所

が2つ以上に分かれる会

が3町会

等々の問題です。

北沢地域

歴史と伝統・安全安心まちづくりを目指して

創立50周年を迎える

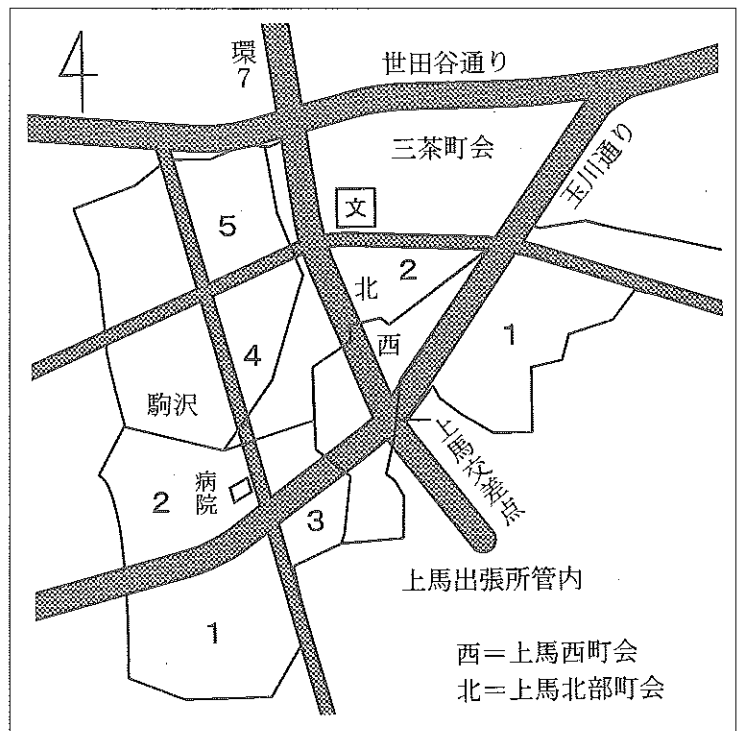
豪徳寺2丁目町会 会長 植松 敬

当町会は創立50周年を迎えました。私たちの町は、井伊家の菩提寺・名利豪徳寺と吉良氏八代の世田谷城

の周りに住む歴史と伝統の町です。町会役員は20名、毎月第1土曜日の夜、役員全員で運営委員会を開催。

町会運営の基本事項を全て検討し運営しています。役員全員が協力的で、毎回の出席率の良いのが自慢です。

さて、近年町会組織の充実と各部活動がより一層充実強化されました。①阪神・淡路大震災、新潟中越地震等自然災害の多発で、防災部による災害に備えた防災資機材の整備と防災活動の強化②犯罪多発区の汚名返上を目指した防犯部に



の資源再利用活動の強化および乱雑なごみ出しの改善とカラス対策
④青少年の健全育成を
目指した青少年部の活動
⑤婦人部によるバザー、講習会など福祉・文化活動等先進的な活動。

これら各部の活動に併せて町会員相互の親睦を基本として町会活動を行っています。

一、防災部

災害発生に備え「自分たちの町は自分たちで守る」をスローガンに活動を続け、歴史と伝統のある防災部です。

① 防災倉庫とその管理

豪徳寺のご厚意で防災倉庫と敷地を提供していただき、お陰で町会は防災活動に専念できています。防災倉庫の管理は防災部が行っています。

② 町会の防災訓練

毎年町会独自で実施します。防災部が立案し、

町会主催の防災訓練 テント張り訓練

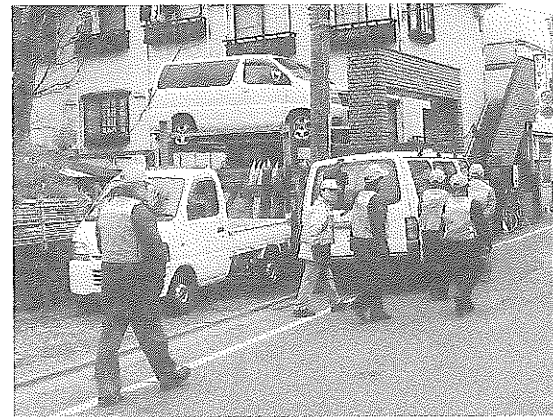


区・消防署・消防団等関係部署の指導のもと実施しています。

二、防犯部

防犯部設立の歴史は古いが、近年世田谷が犯罪多発区となった頃から、防犯活動を重点にあげ、平成16年度区からの助成にて防犯用資材を整備し、同年6月から防犯パトロールを開始しました。パトロールを実施した当初は、防犯部と役員で隊を編成しましたが、隊

防犯パトロール隊の巡回



員を募集したところ、意外な反響で、現在では、6班の編成で月毎交替にてパトロールを実施しています。

三、環境美化部

町内の美化と町会創設以来の伝統である資源再利用の活動が大きな成果をあげています。

① 資源再利用集団回収

当町会は区に対し集団回収団体登録をしております。回収場所は、24箇所 所収集日は毎月第3土曜

日、収集品目は、古紙(古新聞、雑誌、段ボール)

アルミ缶、古布類等で、回収活動に必要な資材(ほうきなど)は町会にて補給しています。

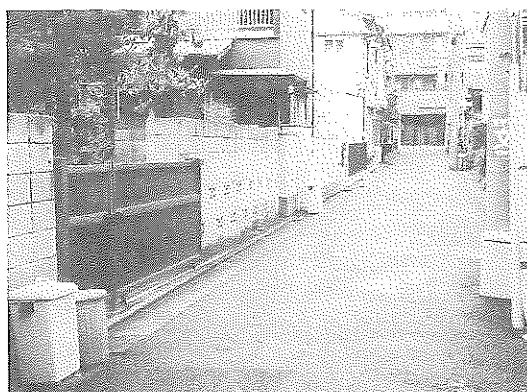
平成15年度の実績は、新聞23・5トン、ダンボール4・7トン、アルミ缶495kgでした。

② ごみ分別の励行と生ごみ・カラス対策

生ごみの散乱被害防止のため(ア)乱雑になり易いごみの集団収集場所を廃止し、個別収集に改め(イ)蓋付きポリバケツなど容器使用によるごみ出しの徹底を図る

以上のことから、ごみの分別、ごみの減量が励行され、カラス被害防止と環境の美化に効果をあげ

資源再利用集団回収 収集場所



蓋付きポリバケツなどカラスの被害はなくなりまし

ました。

四、青少年部

青少年が安全で健やかに育つことを目標に諸活動を行っております。

① 青少年の健全育成と町会行事への参加促進
地域や町会等が行う防災訓練や諸行事への参加

を呼びかけ、参加により経験と体験の場が得られるように配慮しています。

② 子育て中の親同士の交流
健全な青少年の育成に役立つよう子育て中の親同士の交流の場を設けるなど子育てを支援しています。

③ 子どもまつりへの協力、その他
学校協議会、PTA等

にて地域の青少年たちの活動に対する意見を積極的に取上げ、青少年の健全育成に反映できるよう努めています。

五、婦人部

バザー、講習会開催のほ

か、日赤、福祉、民生委員との協力活動など多様な活動を行っております。

① チャリティバザー
町内から寄贈された衣料、雑貨等を販売し、その売上を地元福祉施設に寄付しています。

② コンテナガーデンニング講習会
クリスマスや正月に飾るコンテナガーデンニングの講習会を開催して、寄せ植えの方法や管理の仕方

を学び、園芸知識の普及を図っております。

③ 日本赤十字、社会福祉協議会との協力活動
平成16年には、日赤・民生委員・社協の応援を得て、豪徳寺1丁目と2丁目町会が協力のもと、

両町内の高齢者を対象にしたコスモスを始めました。毎月第1土曜日の午後厚生会館に集っております。

六、今後の課題

当町会は、発足以来今日

までの50年間の活動実績を土台に、安全安心で住みよい町を目指して活動してきました。

近年、町会員のニーズはますます多様化してきました。一方、趣味やレクリエー

ションの機会が多くなっていきますので、前述のような町会活動を進める中で、全町の町会会員への対応が難しくなってきました。隣近所の意志疎通を図るコミュニケーション活動の重要なことは、

玉川地域

「おやまだいコミュニティ」

(略称：「おやコム」)が発足！

協和会(おやコム委員長)

岡本 広

尾山台地域では、「まちづくり」を目指し、平成15年9月に「ここに住んでよかった」と言えるような「まち」にしたい、こんな気持ちを含めてハッピーロード尾山台商店街から町会・自治会をはじめ近隣の小・中学校関係などに呼びかけし、多くの方々が賛同し「まちづくり懇談会」が発足しました。

から平成16年10月31日の第6回まで開催された。第1回では共通認識の確認、第2回は課題の整理、第3回はテーマの設定、第4回では、会の基本理念(別図)の決定、第5回ではイベント開催の検討、第6回では、会の名称を「おや

「まちづくり懇談会」は、平成15年9月30日の第1回

まだいコミュニテ





「イ」(略称:おやコム)と決定し、併せて委員長、副委員長が選出され正式にスタートしました。

1年余り時間をかけてスタートした「おやコム」では、早速、運営委員会を開催し、平成16年12月12日に第1回「おやコム・イベント」として、尾山台小学校をお借りして、普通救命講習、非常時の飲料水の確保と炊き出しの訓練を実施しました。

会場には、地域の町会・自治会(等々力協和会・尾山台3丁目町会・玉堤町会)、学校PTA、おやじの会、商店街の皆さん約60名が参加されました。

イベント内容として、普通救命講習では30名が受講し、心臓マッサージ・人工呼吸など3時間にわたって東京消防庁職員の指導を受けました。

また、阪神淡路大震災時に被災者が家庭にある食材を持ち寄り食の確保を図った「持ち寄り鍋」の実例を生かし、尾山台中学校からリヤカーでポイル器セット2台と携帯発電機、照明機を会場まで運び、各家庭から持ち寄った食材を調理して、試食するなどコミュニケーションの醸成に努めました。

その際に、災害時の飲料水・料理

用水確保の訓練として、商店街の星豆腐店の井戸で携帯発電機を使い汲み上げ、この水を使い「持ち寄り鍋」とアルファームの炊き出しも併せて行いました。

当日は、新潟県中越地震発生直後で、参加者は緊張感を持って終始真剣に取り組み、イベントの最後は全員で出来あがった持ち寄り鍋とおにぎりの昼食で締めくくりました。「まちづくり」には、まず地域のコミュニケーションが必要で、災害時にいかに被害を軽減するかが大切です。

今後の目標としては、声かけ・あいさつはふれあいの原点です。

いろいろな家庭が参加でき、愛情が感じられるコミュニケーションの場を作り、いっしょの作業、いっしょの体験、いっしょに喜べることをしたい。

何かを企画して、小さい事からでも知り合いになるチャンスを作ろう。

いろいろな世代の方とふ

基本理念

「尾山台駅」を生活の拠点として集う人々が、声をかけあい、心を通じ合う…など「～しあう」たのしいまちを、仲間づくりと活動で創ることが「おやまだいコミュニティ」の想いです。

「安全で高齢者や子どもにやさしいまち」

「環境に配慮したきれいなまち」

「文化を大切にするまち」

皆さんは「このまちが好きですか?」「このまちに住んでよかったと思っていますか?」

子どもたちが、将来「ふるさと」として語り継ぐような、そんなまちづくりを目指しています。

れあい、共にづくり、共に喜べる場に参加できる事が住み良いまちづくりになるのではないのでしょうか。

おやコム運営委員会は、開催の準備・案内、会場の確保、当日の用意などいつも積極的に関わっています。興味のある方ご連絡ください。

今後とも、各関係者の皆様の一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

町会・自治会の活動記事

世田谷地域連合交流会を終えて

池尻団地自治会 会長 高橋英嗣

2月9日地域連合交流会

を開催致しました。テーマは、「高齢化と町会・自治会運営」についてです。色々な問題点が指摘され活発な意見交換がなされましたが、高齢者の安否確認・高齢者の身体機能の低下による引きこもり等々、何処まで町会・自治会が踏み込めるのか、やるべきなのか議論が

ありました。

壁は、『プライバシー』です。この言葉の重みは、行政でも大変悩んでいるようです。今日の社会情勢を考えると真剣に取り組むべき問題です。又我々も名簿の保管等には十分な配慮が必要でしょう。しかしながら、災害弱者名簿等を作るにしても、住民の自発的

な情報提供や関係者の協力なくしては、このような問

題は解決できません。住民も行政も高い意識を持ちつつ、町会・自治会活動をご理解していただき、近隣の方々が安心して生活できるような環境作りと、高齢者の方々がいつまでも健康で元気な、笑顔のある町づくりを皆で作しましょう。

北沢地域 地域社会について

北沢と丁目協和会 会長 富永裕万

都市部における地域社会の活性化とか、地域コミュニティの復活の必要性についてなどが最近よくいわれています。

でも、なぜ地域社会はそ

の機能を低下させてしまったのでしょうか。

人間は一人では生きられない社会性を持った生き物です。家族が集まり地域社会をつくり、町ができ、都

市、国があり、地球全体で社会を構成しています。

また、人間は地球上で一番進化した生き物といわれています。進化の競争を勝ち抜いた人類は、前向きに

生きようとする意欲が強く、また異なった環境に順応する能力が優れています。

この強い意欲、能力を遺伝子の中にしっかりと持っている人間は、当然仲良く暮らすみんなの中でも、その遺伝子からの指示は確実に働いてしまいます。

その結果、みんなと仲良くしなければ生きられないくせに、自分だけ一番良くなりたいたい、自分だけを大切にしたい、と思う不思議な二面性を持ち合わせるようになったのです。

これは人間が背負っている宿命ともいえるでしょう。人間は、基本的に自分の考えや生き方を大切に、自由に、思うがままに生きたいのです。ですが、一人だけで勝手気ままに生きることはできません。

この二面性を乗り越えるためには、まず自分の生き方や考え方を大切に、まわりのみんなも同じように自分自身を大切にしたいと思っていることを理解し、

自分と相手の折り合いをつけていかなければなりません。

戦後の右肩上がりの経済の発展は、人々を互いに消費のライバルとしてしまい、人を自己中心的にしがちな原初からのパワーが、理性を凌駕してしまっただけでしょうか。

これでは、地域社会がその機能を発揮することはむずかしいでしょう。

しかし、相手を思いやり、助け合う心、理性こそが家族をはじめとするあらゆる人間の集団をスムーズに機能させる大事なポイントであり、民主主義社会の基本だと思っております。

隣近所は知り合いで、嬉しいこと、悲しいことには、共に喜び、悲しむ。助け合い、路地では子どもが遊び、横丁のご隠居さんはよろず相談に乗ってくれ、揉め事の仲裁もしてくれる。いささか古いイメージで恐縮ですが、こんな地域社会って素敵ですよ。

玉川地域 尾山台3丁目町会活動状況

尾山台3丁目町会 会長 武田 信夫

当会は尾山台3丁目地区の約半分、北は東急大井町線、南は環八、東に駒八通り、西は尾山台中に囲まれた住宅地で500世帯、うち単身アパート150、住民約1000人の小規模な町会です。毎月1回の月例会は平均35人が出席、最初の30分に警察や消防、保健所、体育指導員や歯科医、そして東電の方々からニュースや健康の話題の提供を適宜受けています。火災の原因の第1位は放火ですが、これを防ぐため、ごみの管理や道路の掃除には誰もが協力的です。花や植物で奇麗なお宅、遠くまでお掃除している方、ゴミブリ除去の団子を配布したり、カスピ海ヨーグルトの種を分けておられる方などには年末に『有難う賞』の金一封とお赤飯を贈呈しています。出色なのはハロウィーンで、手作り衣装の

ぬいぐるみやお母さんの晴れ着を再利用した子ども達のパレードで、町内8ヶ所を回りますが前回は50人、お隣の町会の方や、大人の仮装もあって楽しいものになりました。3月末には新中学生になる子を集め、自分はどうな人になりたいのか懇談しています。去年は9人にお祝をしました。

年末にはその年に生まれた赤ちゃんも20歳の成人の方々にお祝金とお赤飯を贈ります。お年寄には9月に77、88、99歳の方を訪問してお祝金を贈ります。特に100歳で杖を使っても歩ける人には金10万円を贈呈、現在99歳でお元気な女性がいる、金さん銀さんにあやかり楽しみに応援しています。

す。年末2日間の夜回りは延32人が参加、拍子木を打ち鳴らし町内を回ります。終つてからの宴会が楽しみで消防や警察の方も加わり手作りのおでん、お汁粉等で歓談の一時を過ごします。

会・研修会を開催し、区民の意識の向上を図る。三、町総連だよりについて、ページ数を減らし、地区の町会・自治会への配布枚数を増やす。

砧地域

「町総連」「地域町連」「地区町連」の役割について

砧地域町会・自治会連合会 副会長 駒井 澄子

永年自治活動に携わり、そして地域町連の役員としての観点から「町総連」「地域町連」「地区町連」の役割について改めて私見を提案いたしますので、町会自治会活動の活性化・効率化の

参考になれば幸いです。

「世田谷区町会総連合会の役割」

- 一、地域町連（地区町連も含む）と連携を強化し、町会・自治会の代表として
- 二、環境・教育・福祉・まちづくり・清掃・ごみ減量リサイクル等の勉強

「地区町連の役割」

- 一、町総連・地域町連での話し合いや、区が提案し実施する施策について報告すると共に、意見・要望をまとめる。
 - 二、地区内の各種団体との連携を強化する。
- 以上、町総連各層の役割を明確にし、意見交換を活

発にして、更に住民の意見を行政に反映させながら、再確認したいと思えます。

鳥山地域 いつまでも住み続けたい町

都営第一八幡山団地自治会 会長 櫻井 茂利男

粕谷・上祖師谷地区は、環状8号線道路の西側に広がり緑あふれる豊かな自然に囲まれた良好な住宅環境地といつてもよい地区です。

しかし、バス運行の説明会では、住まいの近くにはバス停など要らないと言っていた人たちも、今はバス停誘致に熱心であると聞いています。

広大な都立の芦花公園と祖師谷公園があり、さらに上祖師谷まちづくり出張所のすぐ側には、駒澤大学野球部のグラウンドがあります。この脇を流れる仙川は、四季を問わず鯉が泳ぎ、カモが浮かび、まわりの雑木林は、いまま武蔵野の面影を垣間見ることができ自然豊かな地域です。

地域の中心に位置する粕谷区民センターでは、2月にセンター祭り、8月に夕涼み会が開催され、大人と子どもたちの絶好の交流の場となり、大変な人出で賑わっております。

かつては南北のアクセスに不便な地域でしたが、地域住民の運動で京王線の千歳鳥山駅と小田急線の成城学園前駅を約20分で結ぶバスが開通し、地域の人たちの通勤や買物の足となって、日ごとに利用者が増大しています。

また、近隣にある芦花ホームは、老人医療と高齢者の憩いの場として定着しており、健康で楽しいこの状況がいつまでも持続してほしいと願わずにはいられません。

ここは上祖師谷自治会、粕谷会、祖師谷橋自治会、成城通りパークウエストの会と都営第一八幡山団地自

いつ来るか判らない災害、その対策として地区防災訓練にも熱心で、住民は大勢自主的に参加しているのも自慢の一つです。
社会福祉協議会の活動、身近なまちづくり、ごみ減量やリサイクル活動の取り組みも活発です。こうしたつながりがこそが町会・自治会の基礎であり、近隣同士が交流・共同する貴重な顔の見える場とすることが関係を広く良くし大きな力を発揮していくものと思えます。
粕谷・上祖師谷のこの地域が好きで、この街にいつまでも住み続けたいという人たちが協力しあい支え合っている様子をご想像いただけたら嬉しいと思います。
5町会・自治会活動のシンボリック存在の倉本会長を先頭に役員たちは結束して、地域住民と共に安全で安心な住み良いまちづくりを続ける所存です。



大勢が参加した防災訓練

行政情報

国勢調査の調査員を選任中です

世田谷区国勢調査実施本部

毎回、国勢調査にご協力頂きまして、誠にありがとうございます。

昨年よりお願いしておりました国勢調査の調査員さんの選任につきまして、多大なるご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

おかげをもちまして、多くの調査員が決まり、調査がスムーズに実施できる運びとなりました。

各種の統計調査におきましては、近年、プライバシー意識の高まりにより年々調査が困難になってきております。

そこで、今回は、前回の調査で皆様から寄せられた

ご意見を踏まえ、調査方法を見直し、負担を軽減する方法を検討してまいりました。

その結果、次のように調査方法を改善いたしました。

① 調査票を封筒に入れ封をして提出していただく

こととしました。これにより、プライバシーが守られ、調査する側も、される側も嫌な思いをしない

たします。

くのご協力いただけるものと思います。
② 調査員さんの負担の軽減を図るため調査票の点検を廃止しました。

③ 原則的には、直接回収して頂きたいと考えておりますが、概ね3回程度足を運んでも不在の場合、郵送での提出も良いこととしました。

尚、詳しい調査方法は、9月上旬の調査員説明会で説明いたします。今後もご協力の程よろしくお願いいたします。

おります。
対処法としては、まず、あわてないことです。

ご家族の方が事故を起こした「助けて」と電話があれば、誰でも驚き、慌ててしまい、「お金を振り込んで」と頼まれれば、すぐに銀行などに駆けつけたくなります。

ここで「折返し電話します」と冷静に一度電話を切り、一呼吸してください。「すぐにお金を振込まない」として「家族に連絡して事実確認をする」ことが大切です。

届いたメールを開けただけでは、契約は成立しません。

身に覚えのない請求のほがきや携帯電話・パソコンに届いた請求で、すぐに請求先に連絡したり、慌てて振込んだりしないでください。利用していなければ支払いの義務はありません。「家や会社まで取りに行く」、「給与を差し押さえる」、「裁判に訴える」など

振込め詐欺などの架空・不当請求に

お気をつけください

消費生活課

世田谷区でも振込め詐欺(オレオレ詐欺)の被害が多発し、消費生活センターへ相談が多く寄せられてお

り、「消費生活センターだ

より(特集号)を全世帯に配布し、区民のみならず、注意を呼びかけております。

相談の多くは「はがき等

による身に覚えのない請求」や「携帯電話やパソコンに届いたメールを開けただけで登録され請求された」といった不当請求が激増して

の脅かしに騙されないうでください。

今以上の個人情報を与えないためにも請求相手には、絶対連絡をしないこと。

これらの詐欺行為に引つかからないためには、区民の皆様一人一人が、冷静に毅然とした態度で対応し、相談することが一番大切です。

◎ 困った時、おかしいなと思った時は左記までご相談下さい。

相談専用電話 3410-6522

相談受付時間 月曜～金曜日
午前9時～午後4時30分
土曜日(電話相談のみ)
午前9時～午後3時30分

「エコライフ世田谷大作戦」に

ご協力ありがとうございました

環境総合対策室環境計画課

「エコライフ」

エコライフとは、暮らし

の中からエネルギーの無駄づかいをなくし、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の排出削減を図るもので、暮らしの中からの地球温暖化防止を行う行動です。

地球温暖化は、文字どおり地球が暖まりすぎて、海面の上昇や異常気象など、様々な悪影響を及ぼすようになることで、その原因は、二酸化炭素などの「温室効果ガス」が増えすぎることといわれています。

快適で安らかに暮らしていける地球環境のために、「人のいない部屋の照明は消す」、「洗濯はまとめて行う」など皆さんと共にできることから取組んでいたことがエコライフなの

です。

「エコライフ実証実験成果」

平成15・16年度2か年にわたり、町会・自治会の皆様を中心多くの区民の方々にエコライフに取り組んでいただきました。

その成果は、下記の表に示したとおり、二酸化炭素の排出削減は、15年度で42トン、16年度は33トンと推計できました。皆様方のご協力に深く感謝いたします。

「京都議定書が発効」

本年2月16日に京都議定書が発効し、我が国は平成2年当時の排

エコライフ実証実験

項目	年度	平成15年度		平成16年度	
		世帯数	削減量	世帯数	削減量
実験取組み世帯		10,168世帯		11,265世帯	
アンケート回答世帯		5,402世帯		5,901世帯	
二酸化炭素排出削減(推計)		42トン		33トン	
小中学校の児童・生徒とご家族			世帯数	約39,000世帯	
			アンケート回答	約10,000世帯	

出量の6%削減を達成しなければなりません。そのため

めに、産業・運輸部門だけでなく、私たちの生活部門でのエコライフは大きな効果がありません。どうぞ、これからも継続してエコライフに取り組み、豊かですばらしい地球を子孫に残すため、ご協力をお願いいたします。

町総連ニュース

総会

▼6月30日

1. 平成16年度事業報告
2. 平成16年度決算報告
3. 平成16年度会計監査報告

4. 平成17年度事業方針

(案)

5. 平成17年度予算(案)
 6. 役員の改選について
- 以上が提案され原案どおり承認された。

続いて永年勤続者125名の表彰が区長をはじめ来賓多数臨席のもとで行われ、倉本会長から各地域の代表者に感謝状が手渡された。

正副会長会

▼1月21日

1. 新年親睦交流会の件

▼3月18日

1. 平成16年度一般・特

▼5月24日

2. 議事録署名人の選任の件

▼3月18日

9. 胃がん無料検診の申

▼5月24日

4. 役員改選(案)の件

2. 平成16年度予算の執行状況の件
3. 平成17年度予算編成の件
4. 平成17年度永年勤続者表彰推薦の件

- 別会計決算報告(中間)の件
2. 平成17年度予算編成方針案の件
3. 平成17年度予算案の件

常任理事会

▼3月18日

1. 平成16年度一般・特別会計決算報告(中間)の件
2. 平成17年度予算編成方針案の件
3. 平成17年度予算案の件

▼4月26日

11. 会員名簿取扱の件

4. 春の交通安全運動実施計画の件
5. 胃がん無料検診の申し込み方法の変更の件

5. 胃がん無料検診の申し込み方法の変更の件

2. 平成17年度予算編成方針案の件

3. 平成17年度予算案の件

4. 春の交通安全運動実施計画の件

5. 町会・自治会等補助金交付要綱の改正の件

6. 地域安全安心まちづくり区民活動支援の件

7. 防犯パトロール活動の腕章助成の件

8. 平成17年度永年勤続者表彰推薦の件

9. 胃がん無料検診の申し込み方法の変更の件

10. 烏山地域オウム対策住民協議会からのお願いの件

11. 会員名簿取扱の件

1. 総会等のスケジュール・役割分担の件

2. 議事録署名人の選任の件

3. 永年勤続者表彰該当者の件

4. 役員改選(案)の件

6. 三宅村民帰島支援義援金協力の件

▼3月18日

1. 平成16年度一般・特

▼5月24日

2. 議事録署名人の選任の件

▼3月18日

9. 胃がん無料検診の申

▼5月24日

4. 役員改選(案)の件

2. 平成16年度予算の執行状況の件
3. 平成17年度予算編成の件
4. 平成17年度永年勤続者表彰推薦の件

- 別会計決算報告(中間)の件
2. 平成17年度予算編成方針案の件
3. 平成17年度予算案の件

常任理事会

▼3月18日

1. 平成16年度一般・特別会計決算報告(中間)の件
2. 平成17年度予算編成方針案の件
3. 平成17年度予算案の件

▼4月26日

11. 会員名簿取扱の件

4. 春の交通安全運動実施計画の件
5. 胃がん無料検診の申し込み方法の変更の件

5. 胃がん無料検診の申し込み方法の変更の件

2. 平成17年度予算編成方針案の件

3. 平成17年度予算案の件

4. 春の交通安全運動実施計画の件

5. 町会・自治会等補助金交付要綱の改正の件

6. 地域安全安心まちづくり区民活動支援の件

7. 防犯パトロール活動の腕章助成の件

8. 平成17年度永年勤続者表彰推薦の件

9. 胃がん無料検診の申し込み方法の変更の件

10. 烏山地域オウム対策住民協議会からのお願いの件

11. 会員名簿取扱の件

1. 総会等のスケジュール・役割分担の件

2. 議事録署名人の選任の件

3. 永年勤続者表彰該当者の件

4. 役員改選(案)の件

6. 三宅村民帰島支援義援金協力の件

▼3月18日

1. 平成16年度一般・特

▼5月24日

2. 議事録署名人の選任の件

▼3月18日

9. 胃がん無料検診の申

▼5月24日

4. 役員改選(案)の件

理事会

ることが認められた。

- ▼4月26日
- 1. 平成16年度事業報告の件

情報誌編集委員会

- 2. 平成16年度決算報告の件
- 3. 平成16年度会計監査報告の件

- ▼2月25日
- 町総連だより第21号の編集方針の件

- 4. 平成17年度事業方針(案)の件

▼4月27日

- 5. 平成17年度予算(案)の件

- 町総連だより第21号の原稿確認の件

- 6. 総会の件

▼5月25日

- 7. 永年勤続者表彰の件
- 8. 活動費配分額及び徴収会費額の件

- 町総連だより第21号の原稿校正の件

- 9. 地域コミュニティ活性化支援事業の件

▼7月4日

- 10. 高齢者見守りネットワーク事業の件

- 町総連だより第21号の原稿校正の件

会計監査

▼4月4日

会長、会計立ち会いのもと、監事により平成16年度に係る会計監査を行い、適正に執行されていることが認められた。

▼5月16日

- 1. 平成17年度定期総会の件
- 2. 平成17年度会長表彰の件

東京都町会連合会常任理事会

- 3. 平成17年度宿泊研修会の件
- 4. 都町連会費改定の件

▼6月13日

- 定期総会
- 1. 平成17年度事業方針
- 他

お悔やみ申し上げます

- 野沢四丁目自治会会長 大塚 正美 殿
- 平成十七年一月十三日没
- 船橋会会長 芹澤 正利 殿
- 平成十七年三月十一日没
- 北沢五丁目町会会長 武田 玲子 殿
- 平成十七年三月二十日没
- 下馬一丁目町会会長 坂入 清嗣 殿
- 平成十七年六月八日没

「みんなでつくり

みんなを育てよう」

地域の福祉」

第3回地域福祉推進大会が

開催されます

(福) 世田谷区社会福祉協議会

住みなれた地域をより良くしていきたいと、個人や地域が抱える福祉課題の解決に取り組む住民の皆さまの活動を紹介し、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けた活動の仕組み、手法等について考えます。昨年も身近な町での取り組みに参考になりました。大変好評をいただきました。皆さまの来場を心からお待ちしております。

テーマ 「住み慣れた地域で安心して暮らすためには」

日時 平成17年8月28日(日)午後1時30分から

会場 世田谷区民会館

内容 基調講演及び地域活動団体によるシンポジウム

入場 無料。直接ご来場ください。

主催 世田谷区社会福祉協議会

共催 世田谷区

町会長交替のお知らせ

平成17年6月30日現在

	町会・自治会名	新会長	前会長
世田谷地域	三軒茶屋町会	中村 忠明	山田 幸
	世田谷2丁目町会	小池 源一	河原 春雄
	松丘町会	野田 勝彦	安田 憲吾
	経堂1丁目町会	石綿 勝	石綿 英一
	桜丘町会	太田 登	川端 富造
	下馬1丁目町会	副会長代行	坂入 清嗣
	野沢2丁目町会	荒川 初太郎	岡村 紀久
	野沢4丁目自治会	赤柴 安元	大塚 正美
北沢地域	豪徳寺1丁目山下自治会	佐藤 和郎	早崎 清治
	下代田東町会	宮木 清子	清水 秀夫
	代沢5丁目町会	望月 喜昭	金丸 金之助
	代田4丁目町会	石原 昇三	森 公
	代田北町会	細野 喜一	新妻 金一
	大原南町会	恩田 照安	稲垣 昭雄
	北沢5丁目町会	古田 幸夫	武田 玲子
	赤堤3丁目自治会	佐々倉 俊雄	笈沼 義正
	赤堤5丁目町会	岩田 弘靖	野口 幸一
	桜上水2丁目町会	野島 勝啓	高橋 兼城
玉川地域	尾山台クラブ	柏木 温子	小林 君子
	馬事公苑前ハイム管理組合	三島 太郎	渡邊 榮衡
	交和会	新川 崇雄	本田 次郎
	新町公民会	菅田 輝代志	松下 健治
	桜新町町会	小泉 隆一	石田 秀治
砧地域	藤自治会	吉岡 靖之	麻生 俊
	法人格成城自治会	河上 浩一	井田 清利
	船橋会	鈴木 幸次	芹澤 正利
	船橋葎根会	吉崎 義記	花形 和夫
	千歳船橋郵政自治会	山崎 雅彦	大橋 康男
	喜多見北部町会	鈴木 謙二	澤田 俊一
	都営喜多見2丁目団地自治会	大崎 瀧雄	内田 次雄
	法人格砧町自治会	岩崎 さよ子	石澤 永吉
	大蔵東部町会	安藤 孝重	石井 洋一
清水建設砧アパート自治会	木瀬 恭子	浜宇津 めぐみ	
烏山地域	芦花公園前住宅自治会	西田 秀夫	川上 邦夫
	烏山第1団地自治会	中原 一弘	中村 道生
	給田南住宅自治会	江間 貞雄	後藤 正一郎
	烏山住宅自治会	水無瀬 攻	岡田 正
	コートヒルズ久我山光緑の街自治会	島村 裕史	小川 博史

編集後記

☆ 当会長の勇退記事や役員改選を掲載させるため、本号の発行を総会より1ヶ月延期しました。勇退される会長、役員の方々のご苦労に感謝いたすとともに今後にも健康に注意され、時折はご意見などを賜りたいと願っております。

☆ 現編集委員での最後の「せたがや町総連だより」の発行となりました。会員の皆様に読みやすく、地域ごとの活動状況や知っていただきたいタイムリーな情報などを掲載するよう努力してきましたつもりです。

☆ 町会・自治会の役割は、地域の皆様が自分達の「まち」を安全で安心して住み続けられる「まち」にすることだと思います。防災・防犯など日頃からの地道な活動が地域のつながりに結びつきます。

☆ 「継続は力なり」とも言います、更なる活動を期待し「町総連だより」が少しでも皆様のお役に立つことを願っております。

編集委員 斎藤 重男